

事業所名

トゥリバー

支援プログラム

作成日

2026年

3月

9日

法人（事業所）理念		利用児とご家族が安心して今ある生活をより充実したものとなるように、 1) 個性のある『遊び』『リハビリ』『医療ケア』を通し、初めての経験や発見をしていく中で利用児からの主体的な発言を促していきます。 2) 保護者の身体的・精神的拠り所となります。 3) 重症心身障害児や肢体不自由児を知って頂く機会を地域の社会資源と連携し、社会参加を通していく中で築いていきます。								
支援方針		利用児の安心・安全に配慮し保育・医療・運動の視点から利用児（保護者）の意向に沿った支援を行ってまいります。								
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	1) 心身の観察・評価を実施し健康状態を把握します。 例) 栄養状態、排泄、睡眠、体温、spO2、皮膚状態の把握など。 2) 障害の特性や発達の過程に配慮し心身の異変に気付けるよう観察します。								
	運動・感覚	1) 姿勢や運動、日常動作機能の維持向上を図ります。 例) 関節拘縮・変形の抑制や予防、筋力の維持向上、上下肢の運動機能の維持向上など。 2) 移動能力の維持向上を目指します。 例) 寝返り、背這いなど自力移動の維持向上、段階的運動発達の促しなど。								
	認知・行動	1) 認知機能の発達や行動の習得を促す支援をします。 例) 視覚、聴覚、触覚などの感覚入力の実施。形や色、音が変化する様子、時間の概念の形成を図る。数や色、大小の違いの習得を図る。 2) 外部環境の適切な認知と適切な行動の取得を促します。 例) 認知の特性を踏まえて、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や適切な行動への支援など。								
	言語 コミュニケーション	1) 言語形成を図るとともに言語の受容と表出を促します。 例) 日々の経験を言葉の意味と結び付けることで言語の取得、自発的な発声を促す。話し言葉など日々のコミュニケーションの中で自身の気持ちや考えを表出できるよう支援する。 2) 他者との円滑なコミュニケーションが図れるよう支援します。 例) 指差し、身振り、サイン等を理解・活用する。								
	人間関係 社会性	1) 他者との関わりの形成を促します。 例) 日々の活動の中で他者の動きを見たり模倣を促すことで、他者への意識を高め社会性や人間関係の構築を支援する。 2) 集団での活動や行動にて、自己の理解と調整を支援します。 例) 順番やルールを守って遊ぶ共同遊びを通して社会性を高める。								
家族支援		1) 子育ての助けになるよう支援の内容や評価をフィードバックし、必要に応じて面談を実施します。 2) 保護者に休息の時間や個人の時間が作れるよう支援していきます。				移行支援		1) 学校や他放課後等デイサービス等を利用される際も支援がスムーズにいくよう情報共有をしていきます。		
地域支援・地域連携		1) 本人支援を深められるよう、必要に応じて学校等と情報共有していきます。 2) 地域のお子さんや保護者の方たちと交流が深まるよう児童館等で活動をしていきます。				職員の質の向上		1) 虐待防止研修・BCP研修・救急法の研修 2) 外部研修		
主な行事等		・お花見・水遊び（夏）・ハロウィン・クリスマス会・新年会・進級会・遠足（春夏秋冬）								